

医療管理学演習	2年・後期	1単位 30時間	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320522

1. 授業のねらい・概要

医療管理学で学んだ内容について理解を深められるよう、具体的な課題を活用して演習を行う。外来部門、病棟、手術部門、集中治療部門、薬剤部門、画像・放射線部門、検査部門、リハビリテーション部門、事務部門、地域医療連携部門、緩和ケア機能などの具体的な部門や機能の理解、さらに各部門・機能にはどのようなスタッフがおり、どのような役割を果たしているかについて、またチーム医療の実際についても理解を深めながら、ベストなアウトカムとなるために必要な視点について演習を実施する。今後より重要となる地域包括ケアにおける連携や質管理についても理解を深められ、地域医療全体でどのような役割が期待されているかについても演習を行う。ヘルスケアサービス提供においては、“人”が最も重要であることについても学べるよう、演習する。

2. 学修の到達目標

1. 病院の組織と機能について説明できる。
2. 各部門や機能におけるスタッフや各役割について理解できる。
3. チーム医療や連携の重要性について理解できる。
4. 患者満足度やスタッフ満足度などの意味やヘルスケアサービス提供における“人”の重要性について説明できる。
5. 地域医療を含む地域包括ケアにおける看護職の役割について説明できる。

3. 授業の進め方

一言で医療機関といっても様々な機能や役割があり、患者ケアのアウトカムに影響を与えていることについて理解を深められるよう、進めていく。地域包括ケアシステムや連携についても理解を深められるようにする。また、最新の情報を活用するため、マルチメディアセンターにて行う。

4. 授業計画（講義）・・・（講義）（演習）（講義・演習）（実習/実技）のどれかを記入する

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	病院組織における各部門の役割およびチーム医療の重要性	演習	予習：病院を一つ選択し、ホームページに公開されている内容について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、病院組織の各部門の役割およびチーム医療の重要性についてノートにまとめる	一戸真子
2	診療部門・看護部門	演習	予習：診療部門および看護部門それぞれについてこれまでの実習で得た知識を整理しておく 復習：演習内容を振り返り、診療と看護の関係についてノートにまとめる	一戸
3	手術・集中治療部門・救急部門	演習	予習：手術や集中治療、救急部門についての自身のこれまでの知識を整理しておく。 復習：演習内容を振り返り、手術・集中治療・救急部門の機能と役割および看護との関わりについて、ノートにまとめる	一戸
4	薬剤部門・リハビリテーション部門	演習	予習：薬剤師や理学療法士や作業療法士と看護師の関係について、事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、薬剤部門・リハビリテーション部門と看護の関わりについて、ノートにまとめる	一戸
5	検査部門・画像・放射線部門	演習	予習：検査・画像・放射線部門について、事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、検査・画像・放射線部門について、ノートにまとめる	一戸
6	医療安全・感染対策チーム	演習	予習：感染対策を含めた医療安全の重要性	一戸

			について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、感染対策を含めた医療安全の重要性について、ノートにまとめる	
7	栄養サポートチーム、緩和ケアチーム等	演習	予習：栄養サポートチーム、緩和ケアチームについて事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、チーム医療の重要性について、ノートにまとめる	一戸
8	診療情報管理部門・事務部門	演習	予習：診療情報管理部門・事務部門の重要性について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、診療情報の管理および事務職員との連携の重要性について、ノートにまとめる	一戸
9	地域医療連携部門	演習	予習：地域医療連携について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、地域医療連携の重要性について、ノートにまとめる：	一戸
10	診療所・薬局の役割と連携	演習	予習：診療所・薬局の役割について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、診療所・薬局の役割と連携の重要性について、ノートにまとめる	一戸
11	訪問看護ステーションの役割と連携	演習	予習：訪問看護ステーションについて事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、訪問看護ステーションの役割と重要性について、ノートにまとめる	一戸
12	保健施設・福祉施設の役割と連携	演習	予習：保健施設・福祉施設等について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、保健施設・福祉施設の役割と病院との連携について、ノートにまとめる	一戸
13	地域包括支援センター・在宅介護支援センターの役割と連携	演習	予習：地域包括支援センター・在宅介護支援センターについて事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、各センターの役割と連携の重要性について、ノートにまとめる	一戸
14	病病連携，病診連携	演習	予習：病病連携、病診連携について事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、各連携の重要性について、ノートにまとめる	一戸
15	地域包括ケアにおける看護職の役割と“人”の重要性	演習	予習：地域包括ケアシステムについて事前に調べておく 復習：演習内容を振り返り、地域包括ケアにおける看護師の役割の重要性について、ノートにまとめる	一戸

5. 成績評価の方法・基準

レポート 40%，期末試験 60%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料については、授業中に配布もしくはダウンロードする。

参考文献：必要に応じて授業中に紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

各課題の準備におおの2時間程度の確保が必要である。

8. 受講上の留意事項

病院を中心とする医療機関には、具体的にどのような機能があり、スタッフが働いており、どのような患者サービスを提供しているかなど、医療機関の実際について理解を深めることによって、自身の病院選びにも是非参考にしていきたい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験内容については、提出後に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

本授業は、医療施設評価や福祉施設評価における実務経験を活かして指導する。